

2023 年度 (令和 5 年度) 学校評価自己評価表

済美 中学校区 校番 17 福山市立 赤坂小 学校

最終更新日 2023年(令和5年)4月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>〇コロナ禍で、知的好奇心・学びの工夫改善を図り、情報発信に努めるなどの充実に取り組んでいる。更に、児童生徒の学び力、成長する力の定着に向けて取り組むとともに、児童生徒の活動状況などについて、学校から発信して情報を共有していくことが望まれる。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>〇基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。</p> <p>〇校区一体となった取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ってきている。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として 統一した取組等</p>	<p>〇課題発見・解決力 〇コミュニケーション力 〇他者とかかわり合う力・心</p> <p>①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係をきずき、共によりよく生きようとしている。</p> <p>〇社会に開かれた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現 〇「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 〇児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成</p>
--	---	---	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>主体的に考え、学び合う児童の育成を通して、保護者・地域の信頼に応える学校</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>〇課題発見・解決力 〇コミュニケーション力 〇他者とかかわり合う力・心</p>																
<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え 学び合う 子どもの育成</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">めざす子ども像</td> <td>小学校</td> <td>1・2年</td> <td>「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。</td> <td>自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。</td> <td>自分の周りの人の思いに耳を傾け、寄り添ったり励ましたりすることができる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3・4年</td> <td>「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。</td> <td>周りの人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。</td> <td>相手の立場や思いを自分に置き換えて想像し、異なる考えや意見を大切にすることができる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5・6年</td> <td>気付いたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。</td> <td>自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。</td> <td>多様な人たちと接する中で、自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で受け止め、適切に対処することができる。</td> </tr> </table>	めざす子ども像	小学校	1・2年	「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。	自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。	自分の周りの人の思いに耳を傾け、寄り添ったり励ましたりすることができる。		3・4年	「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。	周りの人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。	相手の立場や思いを自分に置き換えて想像し、異なる考えや意見を大切にすることができる。		5・6年	気付いたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。	自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。	多様な人たちと接する中で、自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で受け止め、適切に対処することができる。
めざす子ども像	小学校		1・2年	「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。	自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。	自分の周りの人の思いに耳を傾け、寄り添ったり励ましたりすることができる。											
			3・4年	「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。	周りの人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。	相手の立場や思いを自分に置き換えて想像し、異なる考えや意見を大切にすることができる。											
		5・6年	気付いたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。	自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。	多様な人たちと接する中で、自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で受け止め、適切に対処することができる。												
<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 〇学力調査結果は、国・県平均をやや上回り、基本的な学力は概ね定着している。 〇自分の考えに自信がもてないことから、表現力に課題がある。 〇思いをより共有し、考えをより深めるために、コミュニケーション力や自己肯定感を高める取組が必要である。</p> <p>〈授業〉 〇単元ごと、授業ごとに付けたい力を明らかにし、子どもの姿から授業改善を行っている。 〇思考の流れを意識した単元づくりを行い、本質的な問いによる授業改善を行っている。 〇主体的に考え判断し行動する学習や活動を増やしている。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">研究</td> <td>テーマ</td> <td>主体的・対話的に学び、つないでいく子どもの育成</td> </tr> <tr> <td>内容等</td> <td>〇子どもの意欲や思考の流れを活かした探究的に学ぶ単元づくりの研究 〇教科の本質に迫るため、ファシリテーターとしての在り方の研究</td> </tr> <tr> <td>めざす授業の姿</td> <td colspan="2">児童が、人・モノ・時間を選択・決定し、主体的につなぐ授業 人…友達、他学年、先生、家族、地域の方、ゲストティーチャー モノ…教材、教科・領域、用具、資料、ICTなど(持続可能な集め方で) 時間…児童に合うタイミングで個人学びや共有の場を設定</td> </tr> </table>	研究	テーマ	主体的・対話的に学び、つないでいく子どもの育成	内容等	〇子どもの意欲や思考の流れを活かした探究的に学ぶ単元づくりの研究 〇教科の本質に迫るため、ファシリテーターとしての在り方の研究	めざす授業の姿	児童が、人・モノ・時間を選択・決定し、主体的につなぐ授業 人…友達、他学年、先生、家族、地域の方、ゲストティーチャー モノ…教材、教科・領域、用具、資料、ICTなど(持続可能な集め方で) 時間…児童に合うタイミングで個人学びや共有の場を設定									
研究	テーマ		主体的・対話的に学び、つないでいく子どもの育成														
	内容等	〇子どもの意欲や思考の流れを活かした探究的に学ぶ単元づくりの研究 〇教科の本質に迫るため、ファシリテーターとしての在り方の研究															
めざす授業の姿	児童が、人・モノ・時間を選択・決定し、主体的につなぐ授業 人…友達、他学年、先生、家族、地域の方、ゲストティーチャー モノ…教材、教科・領域、用具、資料、ICTなど(持続可能な集め方で) 時間…児童に合うタイミングで個人学びや共有の場を設定																